

事業所名

きのねっこ すずかけ台

支援プログラム

作成日

2026年

4月

1日

法人（事業所）理念	<p>子どもの姿は、一本の木のようなものです。私たちが日々目に見ている行動は、枝や葉の部分にあたります。しかし、その行動の背景には、目に見えない「ねっこ」の存在があります。子ども一人ひとりの感じ方や思い、育ちの過程に目を向けることが、何よりも大切だと考えています。私たちは、表面的な行動のみを整えるのではなく、その子の内側にある理由や気持ちを理解し、丁寧に寄り添います。</p> <p>安心できる環境の中で、ご家族や関係者とともに支え合いながら、子ども自身の「ねっこ」を育てていくことを大切にします。ねっこがしっかりと育つことで、その子らしい成長や可能性は、自然と広がっていくと信じています。</p> <p>それが、きのねっこの支援の基本姿勢です。</p>						
支援方針	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの“ねっこ”に目を向けた理解：行動の表面だけで判断せず、その背景にある気持ちや発達段階、環境要因を丁寧に捉えます。「なぜこの行動が起きているのか」を常に考え、個々に応じた支援を行います。 2. 安心できる環境づくり：子どもが安心して過ごせることを支援の土台とします。見通しのある活動設定や関わりを通して、不安の軽減と情緒の安定を図ります。 3. 個性を大切にされた支援：一人ひとりの発達や特性、興味関心に応じて支援内容を柔軟に調整します。「できること」に着目し、成功体験を積み重ねていきます。 4. 関係性を育てる支援：大人との信頼関係を基盤に、子ども同士の関わりや社会性の育ちを支援します。無理に集団に合わせるのではなく、その子のペースを尊重します。 5. ご家族との協働：ご家族を重要なパートナーと捉え、日々の様子や成長を共有します。家庭での困りごとにも寄り添いながら、一貫した支援を行います。 						
営業時間	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">9時</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">15分から</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">15時</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">15分まで</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">送迎実施の有無</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">あり なし</td> </tr> </table>	9時	15分から	15時	15分まで	送迎実施の有無	あり なし
9時	15分から	15時	15分まで	送迎実施の有無	あり なし		
支援内容							
本人支援	<p>健康・生活</p> <p>食事、排泄、身支度、歯磨きなど、日常生活に必要な基本的スキルについて、お子様一人ひとりの発達や状態に応じて支援を行います。無理に促すのではなく、できる範囲からスモールステップで取り組み、成功体験を積み重ねながら自立につなげていきます。</p> <p>また、散歩や外出の機会を取り入れ、順番を守る、公共の場での過ごし方など、社会生活に必要なルールを実際の経験を通して学べるよう支援します。</p> <p>さらに、調理活動等を通して食材や食への関心を育み、生活への意欲や興味が広がるよう働きかけていきます。</p>						
	<p>運動・感覚</p> <p>バランスボール、回転いす、トランポリン、シーツブランコ、ふれあい遊び等を取り入れ、揺れや回転、圧刺激などを通して、上下・左右といった身体感覚の理解や調整力を育てます。</p> <p>一人ひとりの感覚特性や受け取り方に配慮しながら、無理のない範囲で心地よい刺激を経験できるよう支援します。</p> <p>また、運動サーキットや公園での遊具遊びなど、全身を使った活動を取り入れ、身体の使い方やバランス感覚、基礎的な運動能力の向上を図ります。</p> <p>楽しみながら体を動かす経験を積み重ねることで、意欲や自己調整力の育ちにもつなげていきます。</p>						
	<p>認知・行動</p> <p>遊びや日常の活動を通して、色・形・大小・数などの概念形成や物の理解を促し、見通しを持って行動する力を育てます。</p> <p>スケジュールや視覚の手がかりを活用し、「何をするか」「いつ終わるか」が分かる環境を整えることで、安心して活動に取り組めるよう支援します。</p> <p>また、「待つ」「順番を守る」「切り替える」といった行動については、発達段階に応じてスモールステップで段階的に習得できるよう支援します。</p> <p>望ましい行動が見られた際にはその都度具体的に認め、強化することで行動の定着を図ります。</p> <p>一方で、困り感のある行動については、その前後の状況（きっかけや結果）を踏まえて分析し、環境調整や関わり方の工夫を行うことで、より適切な行動へとつなげていきます。成功体験を積み重ねながら、理解力や自己調整力の向上を目指します。</p>						
	<p>言語 コミュニケーション</p> <p>一人ひとりの発達段階や特性に応じて、「伝えたい」「分かってもらえた」という経験を大切にしながら、言語および非言語コミュニケーション能力を育てます。</p> <p>指差し、身振り、視線、絵カードなども含め、多様な手段を用いて意思表示ができるよう支援し、やり取りの基礎を築いていきます。</p> <p>語彙の理解や表出については、遊びや日常の関わりの中で繰り返し経験できるよう働きかけ、言葉の定着を図ります。</p> <p>また、「要求」「応答」「やり取りの継続」など、コミュニケーションの目的に応じた関わりを段階的に支援します。</p> <p>適切な伝え方ができた際には即時に肯定的なフィードバックを行い、コミュニケーション行動の強化につなげます。</p> <p>伝わりにくさがある場合には、環境設定や提示方法を工夫し、成功しやすい関わりを意図的に作ります。</p> <p>安心できる関係性の中で、伝えることへの意欲とやり取りの楽しさが広がるよう支援します。</p>						

	人間関係 社会性	<p>安心できる大人との関係性を基盤に、他者との関わりや社会性の育ちを支援します。 関わることへの安心感や楽しさを大切にしながら、段階的に子ども同士のやり取りへとつなげていきます。 ソーシャルスキルトレーニングの要素を取り入れ、気持ちのカードや視覚的な教材を活用し、自分や相手の気持ちに気づけるよう支援します。 「うれしい」「かなしい」「いや」などの感情を見える形で理解し、適切な表現や関わり方を学べるようにします。 また、「順番を守る」「貸し借りをする」「断る・お願いする」など、日常場面で必要となる対人スキルについて、ロールプレイを取り入れながら具体的に練習します。 実際の場面を想定したやり取りを繰り返すことで、実生活で活用しやすい形での定着を図ります。 トラブルが生じた際には、その場面を振り返りながら、気持ちや状況を整理し、「どうすればよかったか」を一緒に考え、次の行動につなげていきます。 一人ひとりのペースや特性に配慮しながら、安心して人と関わる力と、社会の中で過ごすための基礎を育てていきます。</p>	
	家族支援	移行支援	<p>就園・就学や他機関への移行に向けて、お子様が安心して次の環境へ進めるよう支援します。 必要に応じて、保育園・幼稚園・学校等との情報共有や引き継ぎを行い、環境の変化による不安の軽減を図ります。 また、事前の見学や体験、スケジュールの提示などを通して見通しを持てるようにし、スムーズな移行につなげていきます。</p>
	地域支援・地域連携	職員の質の向上	<p>日々の支援後に振り返りを行い、支援の質の向上と共通理解の促進を図ります。 また、職員会議の中でeラーニング等を活用し、支援に必要な知識や専門性の向上に努めます。 さらに、他事業所の見学や情報交換を通して視野を広げ、支援の質の向上につなげていきます。</p>
	<p>主な行事等 季節行事（七夕、ハロウィン、クリスマスなど）・プール遊び・誕生日会・お別れ会・外出活動（公園・地域散策など）・調理活動・オープンデー（地域交流）・遠足</p>		